

< もくじ >	
1. 2017年度定時総会・第16回大会速報	1~2
2. 秋の講演会(再予告)	2
3. 研究会からのお知らせ	3
4. 各研究会の概要報告	3

1. 2017年度定時総会・第16回大会速報

2017年度定時総会および第16回大会は6月18日(日)、お茶の水女子大学本館3階306室で開催されました。(長年お世話になりましたが、お茶の水女子大学での開催は今年度が最後となり、来年度からは駒澤大学での開催となります。)

<第一部 一般社団法人シニア社会学会総会>



まず、第一部の総会では、袖井孝子会長の挨拶に続いて、総合司会の福田明美会員より議長に荒井浩道理事の推薦があり、満場一致で承認されて議事に入りました。第一号議案(2016年度活動報告)、第二号議案(2016年度収支決算報告)、そして第三号議案(2017年度活動計画案)、第四号議案(2017年度収支予算案)それぞれの報告と説明があり、各議案とも満場一致で承認されました。澤岡詩野理事の運営委員への再任が報告されました。2017年度は

2016年度~2018年度までの「第3期3ヶ年計画」の研究テーマ「持続可能な超高齢社会」の2年目であること、今年の大会テーマを「分断社会を超えて」と深化させたこと、研究活動については合同研究会開催内容、それぞれの研究会の議論の内容、新潟・札幌との連携のビジョンについてなど提案されました。

<第二部 一般社団法人シニア社会学会第16回大会>

・第二部-I 一般報告 <地域での活動から>

長田攻一理事の司会で、松村治氏(早稲田大学現代社会と危機管理研究所招聘研究員)、小平陽一氏(元家庭科教員、立教大学21世紀社会デザイン研究科修士課程修了)、野坂真氏(早稲田大学文学学術院助手)の3氏より、地域での実践的



な活動報告がされました。松村氏は、避難者支援は、避難者に共通するウェルビーイング(気分、人間関係、活動状況など多面的な心の健康)を自律的に回復させ、地域の一員としてライフスタイルを変容させていくための支援が大切であることを述べられ、小平氏は、長寿社会がもたらすライフサイクルの変化に伴い、従来の性別役割分業では成り立たないシーンが増えている、それに備え、両

性が家事・生活における共有と柔軟な意識改革は益々必要になってきていることを実体験から報告されました。また、野坂氏は、東日本大震災での被災地岩手県大槌町の災害復興期の地域継承をめぐる取り組みについて報告され、住民同士の軋轢や分断を超え、バラバラになったビジョンを纏めるためにアーカイブ(震災アーカイブではなく地域アーカイブ)の意義があると活動報告されました。



・第二部Ⅱ シンポジウム <分断社会を超えて：持続可能な超高齢社会Ⅱ>

昼食を挟んで、井手英策講師（慶應義塾大学教授）より「分断社会を超えて～頼りあえる社会の構想～」をテーマに基調講演がありました。井手氏は「中の下の反乱」、自壊した新自由主義の凋落等、価値を共有できない社会の傾向が、欧米と比較しても日本が先鋭化している現実を示され、税とは強制的に徴収され無駄遣いされるものではなくて、誰もが安心して生きられる社会の共通の貯蓄であり、結果的に所得や納税者数を増やし、財政を健全化する「税とは分かち合いの蓄え」という税の再分配効果について、日本の社会経済構造を「自己責任」から「分かち合い、頼りあえる社会」へとシフトさせていこうという財政理論について熱く語られました。続いてパネルディスカッションでは、分断された人びとの間をつなぐ地道な活動をされている3名のパネリストから、現場の活動の紹介がありました。児童養護施設出身者のシェアハウス「ようこそ」の理事長庄司洋子氏（立教大学名誉教授）が、養護施設出身で他者との関係性が希薄だった学生と関わる難しさや見えにくい格差の現実について、来栖香氏（キューアンドエー株式会社 CSR 担当）は「サイバーパトロール隊」の取り組みやJK ビジネスの危険性などについて、また菊地謙氏（ワークスコープ千葉）は、潜在的な困窮者へのアウトリーチする伴走型支援の必要性、困窮化する前に芽を摘むことが必要であり、40代の現役世代の相談が圧倒的に多いという現状を語られました。その後、袖井孝子会長が全体を講評し、新自由主義の破綻後、マスコミが煽る暗い話に乗らず、如何に明るく前向きに地に足をつけた社会の構築が大切であることを総括され、濱口晴彦副会長が、今日論じられた多くの課題の中でどういうトリレンマが成り立つのか？と課題を提示され、閉会のご挨拶となりました。



<第三部 懇親交流会>

同大学食堂「マルシェ」に移動し、花崎良政理事の司会で開会。終始、和やかな交流と歓談の場となりました。今年も、袖井孝子会長はコンダクターを弾きつつ詩吟を2曲披露され、学会創立以来のメンバー 森健さんが歌舞伎の三人吉三の名台詞を詠み上げられ、シニア世代の為に厳選された食事メニューを楽しみながら、会場は大いに盛り上がりました。以上（中村昌子 記）



2. 秋の講演会（再予告）

これまで9年に亘って皆様に好評をいただいていた年6回の「連続講座」は、昨年度をもって終了いたしました。それに代わって今年度は、3年計画で進められている「持続可能な超高齢社会をめざして」という大テーマの深化に結びつくようなテーマで講演会の開催を予定しております。詳細については決定次第お知らせいたしますが、現時点で以下のような2つの講演会を秋（9月と10月）に開催予定です。ご期待ください。

(1) 秋の講演会1

- ◆講師：吉原 毅（城南信用金庫相談役、原発ゼロ・自然エネ推進協議会会長）
- ◆テーマ：「反原発と持続可能な地球環境」（仮）
- ◆日時：2017年9月16日（土） 14：00～16：00
- ◆場所：駒澤大学
- ◆参加費：500円

(2) 秋の講演会2

- ◆講 師：木村利人（元清泉女子大学学長、早稲田大学名誉教授）
- ◆テーマ：「戦争・平和・いのちを考える～態度に示そう Creative Aging」
- ◆日 時：2017年10月28日（土） 14：00～16：00
- ◆場 所：駒澤大学
- ◆参加費：500円

3. 研究会からのお知らせ

(1) 第41回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年7月19日（水） 18：00～20：00
 - 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
 - 3) 報告者：柄本三代子（東京国際大学准教授）
 - 4) テーマ：「食のリスクコミュニケーション」
 - 5) 参加費：500円（ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター〈現代の危機と共生社会〉研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所のメンバーは無料）
- ※お問い合わせは、福原（fukuhara@jaas.jp）までお願いいたします。日程が変更になりましたのでご注意ください。

(2) 第103回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年7月19日（水） 18：00～20：00
 - 2) 報告者：松崎 実穂氏（国際基督教大学ゼンガ-研究センター）
 - 3) テーマ：「若者ケアラー（家族を介護する若者）の困難と求められる支援」
 - 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階
- ※ご質問がございましたら、佐藤まで。090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

(3) 第46回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年7月27日（木） 15：00～18：00
 - 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
 - 3) テーマ：討議 — 『老いる権利』をどうしたら履行出来るのか。～その為にクリアしなければならぬ問題点と履行すべき制度や日常生活・習慣について課題を探る。
 - 4) 参加費：300円
- ※お問い合わせは、担当・島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）迄お願い致します。

4. 各研究会の概要報告

(1) 第45回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2017年6月22日（木） 15：00～17：20
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：濱口座長からの話題提供 — 私たちは、「社会」をどう見たらいいだろうか～井手英策教授の基調講演に関連して～

今回は、去る6月18日（日）開催された大会での井手慶応義塾大学教授の基調講演を受けて、濱口座長から話題提供という形でレクチャーと意見交換が行われた。

・濱口座長は冒頭、今回の大会は例年になく素晴らしい問題提起があり、井手教授の基調講演は当学会にとってもいい刺激になったのではないかと述べられた。

・井手教授の言う「頼り合える社会」の概念は、私たちは生活空間を共有したり、相互に結びついたり、影響を与え合ったりしている人びとのまとまりであり、相互関係という「社会」を生きている。この言葉に「people」の意味を重ねながら、望ましい社会を目指しているのだろう。

・「老いる権利」は、法的な側面と人間的な側面の2つを合わせ持っている。法的側面が前面に出やすく印象に残り易い。生活感イメージで、老残、老いの冷や水などの表現があり、権利主張的な側面となじみにくいかも知れない。しかし、「社会」の言葉がこだわりなく使えることから推測すると、いつの日か抵抗なしに使われる日常語になる可能性はある。

※お問い合わせは、担当・島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) 迄お願い致します。

◆事務局は、8月10日(木)～8月15日(火)までクローズとなります◆

一般社団法人シニア社会学会・事務局(月・水・金オープン)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX:(03) 5778-4728

eメール:jaas@circus.ocn.ne.jp URL:<http://www.jaas.jp/>